

# **PrintWalker/LXE**

V16L80



---

---

# インストールガイド

## PrintWalker/LXE V16L80

### for Red Hat Enterprise Linux (for x86)

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red Hat、RPM および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Common UNIX Printing System、CUPS および CUPS ロゴは、Apple Inc.の登録商標です。

UNIX は、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Acrobat、Adobe Reader、および Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における商標または、登録商標です。

その他、本書に記載の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

以降、本書では、®、™ を略記している場合があります。

Copyright FUJITSU LIMITED 2004-2023

---

---

## 1. 概要

本ソフトウェアは、Red Hat Enterprise Linux から LAN (Ethernet TCP/IP) 接続されたネットワークプリンタ VSP シリーズ、およびマルチプラットフォームプリンタ (PS5000 シリーズ) への印刷制御を行うソフトウェアです。

別途、「Support Desk Product」の契約をお願いします。

契約対象は、「VSPPWLX」として契約を行ってください。

## 2. 構成プログラム

システムを構成するプログラムの単位をパッケージと呼びます。本ソフトウェアは、以下に示すパッケージから構成されています。

項番	パッケージ名	バージョン	機能
1	FJSVbsnps	V16L80	印刷制御機能（制御フィルタ）
2	FJSVprcnv	V16L80	印刷制御機能（変換フィルタ）
3	FJSVprweb	V16L70	アラート機能
4	FJSVbsnp8	V16L50	連帳ページプリンタ印刷制御機能（制御フィルタ）

## 3. 適用マニュアル

### 3.1 オンラインマニュアル

以下のマニュアルは、オンラインマニュアルとして製品を格納している CD-ROM に HTML 形式、および PDF 形式で格納されています。

CD-ROM を直接参照するか、ディスクにコピーして参照することができます。

項番	マニュアル名称		ファイル名
1	マニュアルについて	[HTML 形式]	readme.html
2	PrintWalker/LXE 説明書（導入編）	[PDF 形式]	setup.pdf
3	PrintWalker/LXE 説明書（機能編）	[PDF 形式]	funct.pdf
4	PrintWalker/LXE 説明書（操作編）	[PDF 形式]	handl.pdf
5	PrintWalker/LXE 説明書（保守編）	[PDF 形式]	hoshu.pdf
6	PrintWalker/LXE 説明書（アラート編）	[PDF 形式]	alert.pdf

HTML 形式のオンラインマニュアルは、Web ブラウザを使ってパソコンおよびサーバで参照することができます。PDF 形式のオンラインマニュアルは、Acrobat Reader、または Adobe Reader を使ってパソコンで参照することができます。Acrobat Reader は、4.05 以降をお使いください。

#### 3.1.1 パソコンで CD-ROM を直接参照する場合

1. CD-ROM 媒体を CD-ROM 装置にセットします。
2. 以下のファイルを Web ブラウザで開いてください。

CD-ROM のドライブ名: ¥PWLKRLXE¥MANUAL¥index.htm

#### 3.1.2 サーバで CD-ROM を直接参照する場合

1. CD-ROM 媒体をサーバの CD-ROM 装置にセットします。
2. CD-ROM がマウントされていない場合はマウントします。
3. 以下のファイルを Web ブラウザで開いてください。

/マウントポイント/PWLKRLXE/MANUAL/index.htm

### 3.2 印刷マニュアル（製品添付）

ありません。

必要に応じて、本 PDF を印刷いただきご利用ください。

## 4. 動作環境

本ソフトウェアを使用する場合には、以下のソフトウェア環境およびハードウェア環境を満たしている必要があります。

### 4.1 ソフトウェア環境

#### 1) 前提基本ソフトウェア

本ソフトウェアを使用する場合、以下の基本ソフトウェアが必要です。

項番	基本ソフトウェア名	備考
1	Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)	以降、RHEL6(x86)
2	Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64) (注)	以降、RHEL6(Intel64)
3	Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64) (注)	以降、RHEL7(Intel64)
4	Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) (注)	以降、RHEL8(Intel64)

注)

32 ビット互換モードで動作します。

#### 2) 必須ソフトウェア

本ソフトウェアを使用する場合、以下のソフトウェアが必要です。

項番	製品名	パッケージ名	バージョン	備考
1	Interstage Charset Manager Standard Edition Agent	FSUNiconv FSUNadj	9.2.1 以上	必須。 サポートする基本ソフトウェアを確認してください。

#### 3) 排他ソフトウェア

ありません。

#### 4) 必須パッチ

本ソフトウェアを使用する場合、以下の Errata が必要です。

項番	基本ソフトウェア	アドバイザリ番号 (パッケージ)	備考
1	RHEL7(Intel64)	RHBA-2014:1811-1 (kernel-3.10.0-123.9.3.el7) 以降	必須。

### 4.2 ハードウェア環境

本ソフトウェアを使用する場合、以下のハードウェアが必要です。

#### 1) メモリ

256 M バイト以上のメモリが必要です。

#### 2) 必須ハードウェア

本ソフトウェアが動作するために以下の入出力装置が必要です。

項番	機器名	型名	プリンタ装置設定
1	日本語シリアルプリンタ	VSP2740B	サポ-トサ-バ:PrintWalker
2	日本語シリアルプリンタ	VSP2750B	サポ-トサ-バ:PrintWalker
3	日本語シリアルプリンタ	VSP2750C	サポ-トサ-バ:PrintWalker
4	多目的シリアルプリンタ	VSP2851B	サポ-トサ-バ:PrintWalker
5	多目的シリアルプリンタ	VSP2910H	サポ-トサ-バ:PrintWalker
6	日本語ラインプリンタ	VSP3601A	サポ-トサ-バ:PrintWalker
7	日本語ラインプリンタ	VSP3710B	サポ-トサ-バ:PrintWalker
8	日本語ラインプリンタ	VSP3802B	サポ-トサ-バ:PrintWalker

9	カット紙ページプリンタ	VSP4530B	サブ・トサーバ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM
10	カット紙ページプリンタ	VSP4540B	サブ・トサーバ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM
11	カット紙ページプリンタ	VSP4540C	サブ・トサーバ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM
12	カット紙ページプリンタ	VSP4730B	サブ・トサーバ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM
13	連続紙ページプリンタ	PS5110B	サブ・トサーバ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM
14	連続紙ページプリンタ	PS5230B	サブ・トサーバ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM
15	連続紙ページプリンタ	PS5230C	サブ・トサーバ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM
16	連続紙ページプリンタ	PS5600B	サブ・トサーバ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM
17	連続紙ページプリンタ	PS5600C	サブ・トサーバ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM

## 4.3 静的ディスク資源

本ソフトウェアに必要なディスク所要量は以下に示すとおりです。

### 4.3.1 必要とするディスク容量

本ソフトウェアを新規にインストールするためには、各ディレクトリに以下のディスク容量が必要です。必要があれば、該当するファイルシステムのサイズを拡張してください。

項番	ディレクトリ	ディスク所要量 (単位:M バイト)	備考
1	/	0	
2	/usr	0.1	
3	/var	4.8	
4	/home	0	
5	/etc	0.2	
6	/opt	4.4	
7	/tmp	0	

### 4.3.2 必要とする作業域

ありません。

## 4.4 動的ディスク資源

本ソフトウェアに必要な動的ディスク所要量は以下に示すとおりです。

### 4.4.1 必要とするディスク容量

本ソフトウェアを以下の運用で動作させるとき、各ディレクトリにはインストールに必要な“4.3 静的ディスク資源”に加えて以下のディスク容量が必要です。空き容量が足りない場合は、該当するファイルシステムのサイズを拡張してください。

項番	ディレクトリ	ディスク所要量 (単位:M バイト)	運用内容
1	/var	67 (注) +1×プリンタ名の定義数	印刷状態を記録するための作業ファイル

注)

ただし、環境ファイル (/etc/opt/FJSVbsnps/bsnps/bsnpsenv) で LOGFILESIZE [単位:K バイト]を変更した場合は、 $6 + (\text{LOGFILESIZE} \times 3 / 1024)$  [単位:M バイト] となります。

## 4.5 メモリ容量

本ソフトウェアを以下の運用で動作させるときに使用するメモリ容量を示します。

項番	メモリ所要量 (単位:M バイト)	運用内容
1	13.4 [参考値]	1 台のプリンタへのテキスト印刷

## 4.6 スワップ容量

本ソフトウェアを以下の運用で動作させるときに必要なスワップ容量を示します。システム提供のスワップ領域を超える場合は、スワップ領域を拡張してください。

項番	スワップ容量 (単位:M バイト)	運用内容
1	2.56 [参考値]	1 台のプリンタへのテキスト印刷

## 5. 制限、注意事項

### 5.1 制限事項

本ソフトウェアでは、マニュアルに記載された事項のうち、使用を制限しているものがあります。制限事項の内容と対処方法、および解除予定を以下に示します。

項番	制限事項	対処方法	解除予定
1	lpstat コマンド（“lpstat -p” または “lpstat -p プリンタ名”）にて印刷状態を確認したとき、印刷要求 ID が正しく表示されません（印刷要求 ID が常に 0 となる）。  ※基本ソフトウェア：RHEL6.0(x86、Intel64)で使用時のみ。	ありません。	未定
2	印刷中に CUPS スケジューラを停止したとき、同じジョブが複数印刷される場合があります。  ※基本ソフトウェア：RHEL6.0(x86、Intel64)で使用時のみ。	ありません。	未定
3	スーパー・ユーザ権限で “cancel -u 印刷したユーザ名” を実行しても、印刷したユーザがスーパー・ユーザ以外の場合はキャンセル出来ません。  ※基本ソフトウェア：RHEL6.0/6.1/6.2/6.3(x86、Intel64)で使用時のみ。	ありません。	未定
4	保留中の印刷要求を lpmove コマンドで移動すると、移動後、自動的に印刷が再開（保留解除）されてしまいます。  ※基本ソフトウェア：RHEL6(x86、Intel64)で使用時のみ。	ありません。	未定

## 5.2 移行上の注意

### 5.2.1 アラート機能について

バージョンレベルによって、Web ブラウザを使用したメッセージ通知方法が異なります。動作環境も異なりますので、本書（インストールガイド）、および、オンラインマニュアルを確認してください。

V10L10～V15L11	: Web アラータ（または Web アラータ連携）
V15L20 以降	: Web メッセージ連携
V16L70 以降	: 未サポート

## 5.3 注意事項

ありません。



## 6. インストール手順

本ソフトウェアをインストールする手順を以降に説明します。なお、インストールを開始する前に“6.5 インストール時の注意事項”をご一読ください。

### 6.1 インストールの前準備

#### 6.1.1 システム環境の確認

1. 本ソフトウェアがインストールされていないことを確認します。パッケージ名については、“2. 構成プログラム”を参照してください。

```
# rpm -q FJSVbsnps <Return>
# rpm -q FJSVprcnv <Return>
# rpm -q FJSVprweb <Return>
# rpm -q FJSVbsnp8 <Return>
```

2. 上記の操作で、パッケージ情報が出力された場合は既にインストールされていますので、環境ファイルを退避後に、出力されたパッケージをシステムから削除します。環境ファイルの退避方法は、“6.1.2 環境ファイルの退避方法”を参照してください。また、パッケージの削除方法は、“6.4 ソフトウェアの削除方法”を参照してください。
3. 本ソフトウェアをインストールするためにディスクに十分な空きがあるかを確認してください。本ソフトウェアが使用するディスクサイズについては、“4.3 静的ディスク資源”を参照してください。十分な空きがない場合には、ディスクのパーティション構成を設定しなおしてください。

#### 6.1.2 環境ファイルの退避方法

本ソフトウェアには環境ファイル（/etc/opt/FJSVbsnps/bsnps/bsnpsenv）があります。環境ファイルを変更している場合で、同一バージョンレベルのパッケージを再インストールするときは、再インストール前に環境ファイルを退避してください。

1. 環境ファイルを退避します。

```
# cp /etc/opt/FJSVbsnps/bsnps/bsnpsenv 退避先 <Return>
```

#### 6.1.3 インストール時間

本ソフトウェアをインストールするために必要な時間は、約 5 分です。

## 6.2 ソフトウェアのインストール

1. システム上でスーパー・ユーザになります。

```
$ su <Return>
```

2. CUPS スケジューラを停止します。

【RHEL6】

```
# /etc/init.d/cups stop <Return>
```

【RHEL7 以降】

```
# /usr/bin/systemctl stop cups.socket cups.path cups.service <Return>
```

3. CD-ROM 媒体を CD-ROM 装置にセットし、マウントします。

```
# mount CD-ROM装置のデバイス CD-ROM装置のマウントポイント <Return>
```

4. CD-ROM 媒体に格納された“setup”コマンドを実行します。

```
# cd CD-ROM装置のマウントポイント/PWLKRLXE/SETUP <Return>
# ./setup <Return>
```

注)

- setup コマンドは、CD-ROM 媒体に格納されたオンラインマニュアルの導入編を参照して行ってください。

- CD-ROMが自動的にマウントされるとき、“setup” コマンドを実行すると「./setup: /bin/sh: bad interpreter: 許可がありません」のようにエラーが発生する場合があります。その場合は、一度アンマウントし、手動でマウントし直してください。
5. CUPS スケジューラを起動します。  
【RHEL6】

```
# /etc/init.d/cups start <Return>
```

【RHEL7 以降】

```
# /usr/bin/systemctl start cups.socket cups.path cups.service <Return>
```

## 6.3 インストール後の環境設定

1. プリンタの定義を行ってください。
2. 同一バージョンレベルの再インストールの場合で、環境ファイルを退避した場合は、復元します。

```
# cp 退避先/bsnpsenv /etc/opt/FJSVbsnps/bsnps/bsnpsenv <Return>
# chmod 755 /etc/opt/FJSVbsnps/bsnps/bsnpsenv <Return>
# chown root /etc/opt/FJSVbsnps/bsnps/bsnpsenv <Return>
# chgrp sys /etc/opt/FJSVbsnps/bsnps/bsnpsenv <Return>
```

3. 必要に応じて、印刷制御機能の環境ファイルを設定してください。  
設定方法は、本ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

## 6.4 ソフトウェアの削除方法

1. システム上でスーパー・ユーザになります。

```
$ su <Return>
```

2. CUPS スケジューラを停止します。

【RHEL6】

```
# /etc/init.d/cups stop <Return>
```

【RHEL7 以降】

```
# /usr/bin/systemctl stop cups.socket cups.path cups.service <Return>
```

3. CD-ROM 媒体を CD-ROM 装置にセットし、マウントします。

```
# mount CD-ROM装置のデバイス CD-ROM装置のマウントポイント <Return>
```

4. CD-ROM 媒体に格納された“setup” コマンドを実行します。

```
# cd CD-ROM装置のマウントポイント/PWLKRLXE/SETUP <Return>
# ./setup <Return>
```

注)

- setup コマンドは、CD-ROM 媒体に格納されたオンラインマニュアルの導入編を参照して行ってください。
  - CD-ROMが自動的にマウントされるとき、“setup” コマンドを実行すると「./setup: /bin/sh: bad interpreter: 許可がありません」のようにエラーが発生する場合があります。その場合は、一度アンマウントし、手動でマウントし直してください。
5. CUPS スケジューラを起動します。  
【RHEL6】

```
# /etc/init.d/cups start <Return>
```

【RHEL7 以降】

```
# /usr/bin/systemctl start cups.socket cups.path cups.service <Return>
```

## 6.5 インストール時の注意事項

- インストール時に下記のメッセージが出力された場合には、OS のインストール媒体を使用し、“compat-libtermcap” パッケージをインストールしてください。

libtermcap.so.2 は FJSVbsnps-xx.xx-xx.xxx に必要とされています
---

- SELinux を有効にした環境で使用するには、ポリシーモジュールのインストールが必要です。詳細はオンラインマニュアルの導入編を参照してください。  
なお、SELinux を有効にした環境での使用は RHEL6.2 以降でのみサポートしています。

## 付録A アラート機能利用時のクライアントについて

アラート機能に必要なクライアント環境は、以下のとおりです。なお、アラート機能についての詳細は CD-ROM 媒体に格納されたオンラインマニュアルのアラート編を参照してください。

### 1) オペレーティングシステム

後述の必須ソフトウェア（PW メッセージ管理、および、PW メッセージクライアント）が動作可能なオペレーティングシステムです。詳細は『PrintWalker/PM』のソフトウェア説明書を参照してください。

- Windows® 8.1 Pro
  - Windows® 10 Pro
  - Windows® 11 Pro
  - Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard
  - Microsoft® Windows Server® 2016 Standard
  - Microsoft® Windows Server® 2019 Standard
  - Microsoft® Windows Server® 2022 Standard
- など

### 2) 必須ソフトウェア

以下のソフトウェアが必要です。

- PW メッセージ管理
  - PW メッセージクライアント
- ※これらは、『PrintWalker/PM』 V81L30 以降に同梱されています。

---

# インストールガイド

## PrintWalker/LXE V16L80

### for Red Hat Enterprise Linux (for Intel64)

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red Hat、RPM および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Common UNIX Printing System、CUPS および CUPS ロゴは、Apple Inc.の登録商標です。

UNIX は、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Acrobat、Adobe Reader、および Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における商標または、登録商標です。

その他、本書に記載の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

以降、本書では、®、™ を略記している場合があります。

Copyright FUJITSU LIMITED 2010-2023

---

## 1. 概要

本ソフトウェアは、Red Hat Enterprise Linux から LAN (Ethernet TCP/IP) 接続されたネットワークプリンタ VSP シリーズ、およびマルチプラットフォームプリンタ (PS5000 シリーズ) への印刷制御を行うソフトウェアです。

別途、「Support Desk Product」の契約をお願いします。

契約対象は、「VSPWLX」として契約を行ってください。

## 2. 構成プログラム

システムを構成するプログラムの単位をパッケージと呼びます。本ソフトウェアは、以下に示すパッケージから構成されています。

項番	パッケージ名	バージョン	機能
1	FJSVbsnps	V16L80	印刷制御機能（制御フィルタ）
2	FJSVprcnv	V16L80	印刷制御機能（変換フィルタ）
3	FJSVprweb	V16L70	アラート機能
4	FJSVbsnp8	V16L50	連帳ページプリンタ印刷制御機能（制御フィルタ）

## 3. 適用マニュアル

### 3.1 オンラインマニュアル

以下のマニュアルは、オンラインマニュアルとして製品を格納している CD-ROM に HTML 形式、および PDF 形式で格納されています。

CD-ROM を直接参照するか、ディスクにコピーして参照することができます。

項番	マニュアル名称		ファイル名
1	マニュアルについて	[HTML 形式]	readme.html
2	PrintWalker/LXE 説明書（導入編）	[PDF 形式]	setup.pdf
3	PrintWalker/LXE 説明書（機能編）	[PDF 形式]	funct.pdf
4	PrintWalker/LXE 説明書（操作編）	[PDF 形式]	handl.pdf
5	PrintWalker/LXE 説明書（保守編）	[PDF 形式]	hoshu.pdf
6	PrintWalker/LXE 説明書（アラート編）	[PDF 形式]	alert.pdf

HTML 形式のオンラインマニュアルは、Web ブラウザを使ってパソコンおよびサーバで参照することができます。PDF 形式のオンラインマニュアルは、Acrobat Reader、または Adobe Reader を使ってパソコンで参照することができます。Acrobat Reader は、4.05 以降をお使いください。

#### 3.1.1 パソコンで CD-ROM を直接参照する場合

1. CD-ROM 媒体を CD-ROM 装置にセットします。
2. 以下のファイルを Web ブラウザで開いてください。

CD-ROM のドライブ名: ¥PWLKRLXE¥MANUAL¥index.htm

#### 3.1.2 サーバで CD-ROM を直接参照する場合

1. CD-ROM 媒体をサーバの CD-ROM 装置にセットします。
2. CD-ROM がマウントされていない場合はマウントします。
3. 以下のファイルを Web ブラウザで開いてください。

/マウントポイント/PWLKRLXE/MANUAL/index.htm

### 3.2 印刷マニュアル（製品添付）

ありません。

必要に応じて、本 PDF を印刷いただきご利用ください。

## 4. 動作環境

本ソフトウェアを使用する場合には、以下のソフトウェア環境およびハードウェア環境を満たしている必要があります。

### 4.1 ソフトウェア環境

#### 1) 前提基本ソフトウェア

本ソフトウェアを使用する場合、以下の基本ソフトウェアが必要です。

項番	基本ソフトウェア名		備考
1	Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)	(注)	以降、RHEL6(Intel64)
2	Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)	(注)	以降、RHEL7(Intel64)
3	Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)	(注)	以降、RHEL8(Intel64)
4	Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)	(注)	以降、RHEL9(Intel64)

注)

64 ビットモードで動作します。

#### 2) 必須ソフトウェア

本ソフトウェアを使用する場合、以下のソフトウェアが必要です。

項番	製品名	パッケージ名	バージョン	備考
1	Interstage Charset Manager Standard Edition Agent	FSUNiconv FSUNadj	9.2.1 以上	必須。 サポートする基本ソフトウェアを確認してください。

#### 3) 排他ソフトウェア

ありません。

#### 4) 必須パッチ

本ソフトウェアを使用する場合、以下の Errata が必要です。

項番	基本ソフトウェア	アドバイザリ番号 (パッケージ)	備考
1	RHEL7(Intel64)	RHBA-2014:1811-1(kernel-3.10.0-123.9.3.el7) 以降	必須。

### 4.2 ハードウェア環境

本ソフトウェアを使用する場合、以下のハードウェアが必要です。

#### 1) メモリ

256 M バイト以上のメモリが必要です。

#### 2) 必須ハードウェア

本ソフトウェアが動作するために以下の入出力装置が必要です。

項番	機器名	型名	プリンタ装置設定
1	日本語シリアルプリンタ	VSP2740B	サポ-トサ-バ:PrintWalker
2	日本語シリアルプリンタ	VSP2750B	サポ-トサ-バ:PrintWalker
3	日本語シリアルプリンタ	VSP2750C	サポ-トサ-バ:PrintWalker
4	多目的シリアルプリンタ	VSP2851B	サポ-トサ-バ:PrintWalker
5	多目的シリアルプリンタ	VSP2910H	サポ-トサ-バ:PrintWalker
6	日本語ラインプリンタ	VSP3601A	サポ-トサ-バ:PrintWalker
7	日本語ラインプリンタ	VSP3710B	サポ-トサ-バ:PrintWalker
8	日本語ラインプリンタ	VSP3802B	サポ-トサ-バ:PrintWalker
9	カット紙ページプリンタ	VSP4530B	サポ-トサ-バ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM

10	カット紙ページプリンタ	VSP4540B	サボートサーバ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM
11	カット紙ページプリンタ	VSP4540C	サボートサーバ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM
12	カット紙ページプリンタ	VSP4730B	サボートサーバ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM
13	連続紙ページプリンタ	PS5110B	サボートサーバ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM
14	連続紙ページプリンタ	PS5230B	サボートサーバ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM
15	連続紙ページプリンタ	PS5230C	サボートサーバ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM
16	連続紙ページプリンタ	PS5600B	サボートサーバ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM
17	連続紙ページプリンタ	PS5600C	サボートサーバ:BSNPS, 伝送経路:TCP/IP, エミュレーション FM

## 4.3 静的ディスク資源

本ソフトウェアに必要なディスク所要量は以下に示すとおりです。

### 4.3.1 必要とするディスク容量

本ソフトウェアを新規にインストールするためには、各ディレクトリに以下のディスク容量が必要です。必要があれば、該当するファイルシステムのサイズを拡張してください。

項番	ディレクトリ	ディスク所要量 (単位:M バイト)	備考
1	/	0	
2	/usr	0.1	
3	/var	4.6	
4	/home	0	
5	/etc	0.2	
6	/opt	4.5	
7	/tmp	0	

### 4.3.2 必要とする作業域

ありません。

## 4.4 動的ディスク資源

本ソフトウェアに必要な動的ディスク所要量は以下に示すとおりです。

### 4.4.1 必要とするディスク容量

本ソフトウェアを以下の運用で動作させるとき、各ディレクトリにはインストールに必要な“4.3 静的ディスク資源”に加えて以下のディスク容量が必要です。空き容量が足りない場合は、該当するファイルシステムのサイズを拡張してください。

項番	ディレクトリ	ディスク所要量 (単位:M バイト)	運用内容
1	/var	67 (注) +1×プリンタ名の定義数	印刷状態を記録するための作業ファイル

注)

ただし、環境ファイル (/etc/opt/FJSVbsnps/bsnps/bsnpsenv) で LOGFILESIZE [単位:K バイト]を変更した場合は、 $6 + (\text{LOGFILESIZE} \times 3 / 1024)$  [単位:M バイト] となります。

## 4.5 メモリ容量

本ソフトウェアを以下の運用で動作させるときに使用するメモリ容量を示します。

項番	メモリ所要量 (単位:M バイト)	運用内容
1	13.4 [参考値]	1 台のプリンタへのテキスト印刷



## 4.6 スワップ容量

本ソフトウェアを以下の運用で動作させるときに必要なスワップ容量を示します。システム提供のスワップ領域を超える場合は、スワップ領域を拡張してください。

項番	スワップ容量 (単位:M バイト)	運用内容
1	2.56 [参考値]	1 台のプリンタへのテキスト印刷

## 5. 制限、注意事項

### 5.1 制限事項

本ソフトウェアでは、マニュアルに記載された事項のうち、使用を制限しているものがあります。制限事項の内容と対処方法、および解除予定を以下に示します。

項番	制限事項	対処方法	解除予定
1	lpstat コマンド（“lpstat -p” または “lpstat -p プリンタ名”）にて印刷状態を確認したとき、印刷要求 ID が正しく表示されません（印刷要求 ID が常に 0 となる）。  ※基本ソフトウェア：RHEL6.0 で使用時のみ。	ありません。	未定
2	印刷中に CUPS スケジューラを停止したとき、同じジョブが複数印刷される場合があります。  ※基本ソフトウェア：RHEL6.0 で使用時のみ。	ありません。	未定
3	スーパー・ユーザ権限で “cancel -u 印刷したユーザ名” を実行しても、印刷したユーザがスーパー・ユーザ以外の場合はキャンセル出来ません。  ※基本ソフトウェア：RHEL6.0/6.1/6.2/6.3 で使用時のみ。	ありません。	未定
4	保留中の印刷要求を lpmove コマンドで移動すると、移動後、自動的に印刷が再開（保留解除）されてしまいます。  ※基本ソフトウェア：RHEL6 で使用時のみ。	ありません。	未定

## 5.2 移行上の注意

### 5.2.1 アラート機能について

バージョンレベルによって、Web ブラウザを使用したメッセージ通知方法が異なります。動作環境も異なりますので、本書（インストールガイド）、および、オンラインマニュアルを確認してください。

V10L10～V15L11	: Web アラータ（または Web アラータ連携）	（注）
V15L20 以降	: Web メッセージ連携	
V16L70 以降	: 未サポート	

**注）**

x86 版をインストールした場合（32 ビット互換モードで動作させた場合）。

## 5.3 注意事項

ありません。

## 6. インストール手順

本ソフトウェアをインストールする手順を以降に説明します。なお、インストールを開始する前に“6.5 インストール時の注意事項”をご一読ください。

### 6.1 インストールの前準備

#### 6.1.1 システム環境の確認

1. 本ソフトウェアがインストールされていないことを確認します。パッケージ名については、“2. 構成プログラム”を参照してください。

```
# rpm -q FJSVbsnps <Return>
# rpm -q FJSVprcnv <Return>
# rpm -q FJSVprweb <Return>
# rpm -q FJSVbsnp8 <Return>
```

2. 上記の操作で、パッケージ情報が出力された場合は既にインストールされていますので、環境ファイルを退避後に、出力されたパッケージをシステムから削除します。環境ファイルの退避方法は、“6.1.2 環境ファイルの退避方法”を参照してください。また、パッケージの削除方法は、“6.4 ソフトウェアの削除方法”を参照してください。
3. 本ソフトウェアをインストールするためにディスクに十分な空きがあるかを確認してください。本ソフトウェアが使用するディスクサイズについては、“4.3 静的ディスク資源”を参照してください。十分な空きがない場合には、ディスクのパーティション構成を設定しなおしてください。

#### 6.1.2 環境ファイルの退避方法

本ソフトウェアには環境ファイル（/etc/opt/FJSVbsnps/bsnps/bsnpsenv）があります。環境ファイルを変更している場合で、同一バージョンレベルのパッケージを再インストールするときは、再インストール前に環境ファイルを退避してください。

1. 環境ファイルを退避します。

```
# cp /etc/opt/FJSVbsnps/bsnps/bsnpsenv 退避先 <Return>
```

#### 6.1.3 インストール時間

本ソフトウェアをインストールするために必要な時間は、約 5 分です。

## 6.2 ソフトウェアのインストール

1. システム上でスーパー・ユーザになります。

```
$ su <Return>
```

2. CUPS スケジューラを停止します。

【RHEL6】

```
# /etc/init.d/cups stop <Return>
```

【RHEL7 以降】

```
# /usr/bin/systemctl stop cups.socket cups.path cups.service <Return>
```

3. CD-ROM 媒体を CD-ROM 装置にセットし、マウントします。

```
# mount CD-ROM装置のデバイス CD-ROM装置のマウントポイント <Return>
```

4. CD-ROM 媒体に格納された“setup”コマンドを実行します。

```
# cd CD-ROM装置のマウントポイント/PWLKRLXE/SETUP <Return>
# ./setup <Return>
```

注)

- setup コマンドは、CD-ROM 媒体に格納されたオンラインマニュアルの導入編を参照して行ってください。

- CD-ROMが自動的にマウントされるとき、“setup” コマンドを実行すると「./setup: /bin/sh: bad interpreter: 許可がありません」のようにエラーが発生する場合があります。その場合は、一度アンマウントし、手動でマウントし直してください。
5. CUPS スケジューラを起動します。  
【RHEL6】

```
# /etc/init.d/cups start <Return>
```

【RHEL7 以降】

```
# /usr/bin/systemctl start cups.socket cups.path cups.service <Return>
```

## 6.3 インストール後の環境設定

1. プリンタの定義を行ってください。
2. 同一バージョンレベルの再インストールの場合で、環境ファイルを退避した場合は、復元します。

```
# cp 退避先/bsnpsenv /etc/opt/FJSVbsnps/bsnps/bsnpsenv <Return>
# chmod 755 /etc/opt/FJSVbsnps/bsnps/bsnpsenv <Return>
# chown root /etc/opt/FJSVbsnps/bsnps/bsnpsenv <Return>
# chgrp sys /etc/opt/FJSVbsnps/bsnps/bsnpsenv <Return>
```

3. 必要に応じて、印刷制御機能の環境ファイルを設定してください。  
設定方法は、本ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

## 6.4 ソフトウェアの削除方法

1. システム上でスーパー・ユーザになります。

```
$ su <Return>
```

2. CUPS スケジューラを停止します。

【RHEL6】

```
# /etc/init.d/cups stop <Return>
```

【RHEL7 以降】

```
# /usr/bin/systemctl stop cups.socket cups.path cups.service <Return>
```

3. CD-ROM 媒体を CD-ROM 装置にセットし、マウントします。

```
# mount CD-ROM装置のデバイス CD-ROM装置のマウントポイント <Return>
```

4. CD-ROM 媒体に格納された“setup” コマンドを実行します。

```
# cd CD-ROM装置のマウントポイント/PWLKRLXE/SETUP <Return>
# ./setup <Return>
```

注)

- setup コマンドは、CD-ROM 媒体に格納されたオンラインマニュアルの導入編を参照して行ってください。
  - CD-ROMが自動的にマウントされるとき、“setup” コマンドを実行すると「./setup: /bin/sh: bad interpreter: 許可がありません」のようにエラーが発生する場合があります。その場合は、一度アンマウントし、手動でマウントし直してください。
5. CUPS スケジューラを起動します。

【RHEL6】

```
# /etc/init.d/cups start <Return>
```

【RHEL7 以降】

```
# /usr/bin/systemctl start cups.socket cups.path cups.service <Return>
```

## 6.5 インストール時の注意事項

- インストール時に下記のメッセージが出力された場合には、OS のインストール媒体を使用し、“compat-libtermcap” パッケージをインストールしてください。

libtermcap.so.2 は FJSVbsnps-xx.xx-xx.xxx に必要とされています
---

- SELinux を有効にした環境で使用するには、ポリシーモジュールのインストールが必要です。詳細はオンラインマニュアルの導入編を参照してください。  
なお、SELinux を有効にした環境での使用は RHEL6.2 以降でのみサポートしています。

## 付録A アラート機能利用時のクライアントについて

アラート機能に必要なクライアント環境は、以下のとおりです。なお、アラート機能についての詳細は CD-ROM 媒体に格納されたオンラインマニュアルのアラート編を参照してください。

### 1) オペレーティングシステム

後述の必須ソフトウェア（PW メッセージ管理、および、PW メッセージクライアント）が動作可能なオペレーティングシステムです。詳細は『PrintWalker/PM』のソフトウェア説明書を参照してください。

- Windows® 8.1 Pro
  - Windows® 10 Pro
  - Windows® 11 Pro
  - Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard
  - Microsoft® Windows Server® 2016 Standard
  - Microsoft® Windows Server® 2019 Standard
  - Microsoft® Windows Server® 2022 Standard
- など

### 2) 必須ソフトウェア

以下のソフトウェアが必要です。

- PW メッセージ管理
  - PW メッセージクライアント
- ※これらは、『PrintWalker/PM』 V81L30 以降に同梱されています。